



「スピード」の **ジェフ・ダニエルズ**

「ピアノ・レッスン」の **アンナ・パキン**

グース

FLY AWAY HOME

COLUMBIA PICTURES PRESENTS
 A SANDOLLAR PRODUCTION A FILM BY CARROLL BALLARD STARRING JEFF DANIELS ANNA PAQUIN "FLY AWAY HOME"
 DANA DELANY TERRY KINNEY MUSIC BY MARK ISHAM EXECUTIVE PRODUCER SANDY GALLIN
 SCREENPLAY BY ROBERT RODAT AND VINCE MCKEWIN PRODUCED BY JOHN VEITCH AND CAROL BAUM DIRECTED BY CARROLL BALLARD COLUMBIA PICTURES

グース

FLY AWAY HOME



**ママ・グースは14歳、
16羽の子供たちと大空へ飛び立ちます。**

大空を鳥たちと一緒に思うがままに飛んでみたい——誰もが一度は憧れるそんな夢を実現した親子がいた。これは16羽の可愛いグースたちの“ママ”になった少女と、彼らを連れて500マイルの渡りの旅に出ることを思いついた親子のロマンあふれるファンタスティックな物語。



事故で母を失った14歳の少女エイミー・アルデンは10年間会ったことのない父親トーマスに引き取られカナダへとやって来る。新しい暮らしにもなじめず、思い出にこもるエイミー。ある日、彼女は森で親を亡くしたグースの卵を発見する。卵がかえった時、彼女は16羽のヒナたちの“ママ”になっていた。やがて彼らが南へ渡る季節が近づいた時、アルデン父子は、グースたちに飛ぶことを教え、越冬地まで連れていく方法を考えなければならぬと知る。それは二人にとって、10年間の空白を取り戻し、信頼と理解を築く過程になっていく……。



**一番かわいくて元気が出る、
涙と感動のグースのドラマ**

ヨチヨチ歩きのヒナたちが、“ママ”エイミーの後についてどこへでも懸命に追いかけていく光景が、何ともチャームングで微笑ましい。エイミーとトーマスの超軽量飛行機に導かれて編隊飛行する美しいシーンが心を洗う。妨害する者がいたり、助けてくれる者と出会ったり、思わぬアクシデントに見舞われたりと、ハラハラドキドキの展開が飽きさせない。飛ぶのが苦手な落ちこぼれグースの行方も気を揉ませる。



キュートなグースたちの共演者は、『ピアノ・レッスン』で弱冠11歳にしてアカデミー助演女優賞に輝いたアンナ・パキンと、『カイロの紫のパラ』『スピード』のジェフ・ダニエルズ。またトーマスの恋人スーザンを『ハウスシッター／結婚願望』のダナ・デラニー、トーマスの兄デビッドを『青いドレスの女』のテリー・キニーがそれぞれ演じる。

映画のモデルになったホンモノの“グースおじさん”

スクリーンに映っているグースたちが決してCG合成やペットなどではなく、本物であるという事実は、観る者の感動をさらに豊かなものにしてくれるだろう。この信じられないような映像がいかにして可能になったかは、これが実話に基づく物語であるという点に集約される。カナダ在住の彫刻家ビル・リッシュマンがその人。ある秋の朝、飛行を楽しんでいた彼は、カモの群れに囲まれ、一緒に飛ぶという感動的な体験をした。数年後、彼はある自然コンサルタントから“刷り込み”のことを教わる。孵化したばかりのヒナが初めて目に動く対象を縦と思い込む、という理論だ。1986年、リッシュマンは15羽のヒナに刷り込みを行うことを開始する。やがて、グースと一緒に空を飛ぶ男“ファーザー・グース”の話はマスコミを通して知られるようになった。
(注) 本文中“カナダガン”=Canada Goose”を総称し、全て“グース”と表記した。



12月ロードショー!

有楽町・東宝映画街
日比谷みゆき座 (5591) 03
5357